

「平成27年度環境保全型農業推進コンクール」 うるま市い草生産組合が 農林水産大臣賞を受賞

～より良いビーグ（い草）を後世まで～

仕事の窓 4

農林水産部

農林水産省は、有機農業をはじめとする環境保全型農業に意欲的に取り組む農業者を表彰する「環境保全型農業推進コンクール」を開催しております。

今年度は、農林水産大臣賞2点、生産局長賞6点が選ばれ、うるま市い草生産組合が最高賞である農林水産大臣賞を受賞しました。



ビーグ（い草）栽培の様子

表彰式及びシンポジウム

3月2日、東京都において、「環境保全型農業推進コンクール」の表彰式が開催され、佐藤農林水産大臣政務官から、うるま市い草生産組合の照屋組合長へ農林水産大臣賞が授与されました。

表彰式終了後、農林水産大臣賞を受賞した、うるま市い草生産組合及び有限会社やさか共同農場（島根県）から、取組事例の発表が行われました。

照屋組合長は、他地域とうるま市とのい草の生産・加工方法の違いや、い草田に生息する多様な小動物について、また、今後の組合の生産拡大の方向などについて発表を行いました。

うるま市い草生産組合の取組

約150～200年前から、い草が栽培されているうるま市では、昭和55年に販売の強化と生産性向上を図るため、「い草生産組合（組合長 照屋守敬氏）」が設立されました。

同組合では、沖縄特有の厳しい自然環境の下で、化学合成農薬や化学肥料を極力使用せず、堆肥を活用した土作りでい草の「根張り」を良くしたり、水田に隣接するため池から灌水を行うなどの昔ながらの方法でい草を生産することにより、数多くの小動物が生息する水田環境の保全に貢献しています。

平成27年度 環境保全型農業推進コンクール表彰式・シンポジウム



賞状を受け取る照屋組合長（東京都）

取組事例発表の様子

受賞報告会

さらに、うるま市教育委員会と協力して、い草や地域の水田の自然環境を学ぶ場を設け、教育活動にも尽力していること等も評価され、今回の受賞に至りました。

3月9日には、沖縄総合事務局において、い草生産組合の代表者から、久保田局長へ受賞報告が行われ、兼城副組合長からは、「昔から続くうるま市伝統のビーグ（い草）を継承し、多くの人に知ってもらいたい」と喜びの声があつたほか、技術継承が重要であることが報告されました。また、照屋組合長、組合の広報担当者からは、商品開発の取組などについて紹介があり、その後、うるま市でのい草生産と環境保全型農業の取組について、意見交換を行いました。

※ビーグとは、沖縄の方で「い草」の意味。

「平成27年度環境保全型農業推進コンクール」 農林水産大臣賞の受賞報告会



受賞報告会での記念撮影